

令和 2年 3月27日
石 川 県
金 沢 市

金沢外環状道路海側幹線Ⅳ期区間(大河端町～福久町間) の暫定供用目標について

県と金沢市が連携して整備を進めている金沢外環状道路海側幹線Ⅳ期区間の金沢市大河端町から福久町間については、浅野川や金腐川に架かる橋梁や国道8号と接続する区間の工事が順調に進捗していることから、北陸新幹線県内全線開業までの山側2車線での暫定供用を目指してまいります。

開通目標	事業主体	事業名	区間	延長
2022年度	石川県	海側幹線Ⅳ期	<small>かなざわ おこぼたまち かなざわ おおうらまち</small> 金沢市大河端町～金沢市大浦町	0.9 km
2022年度	金沢市	海側幹線Ⅳ期	<small>かなざわ おおうらまち かなざわ せぎまち</small> 金沢市大浦町～金沢市千木町	1.6 km
2022年度	石川県	海側幹線Ⅳ期	<small>かなざわ せぎまち かなざわ ふくひさまち</small> 金沢市千木町～金沢市福久町	0.7 km

○今回公表区間の供用による期待される効果（別紙参照）

- 効果1：金沢都市圏の交通円滑化
- 効果2：加賀・金沢・能登の連携強化
- 効果3：陸・海・空の交流基盤の連結

記者発表先：石川県政記者クラブ、金沢市政記者会

問い合わせ先

石川県 土木部 道路建設課

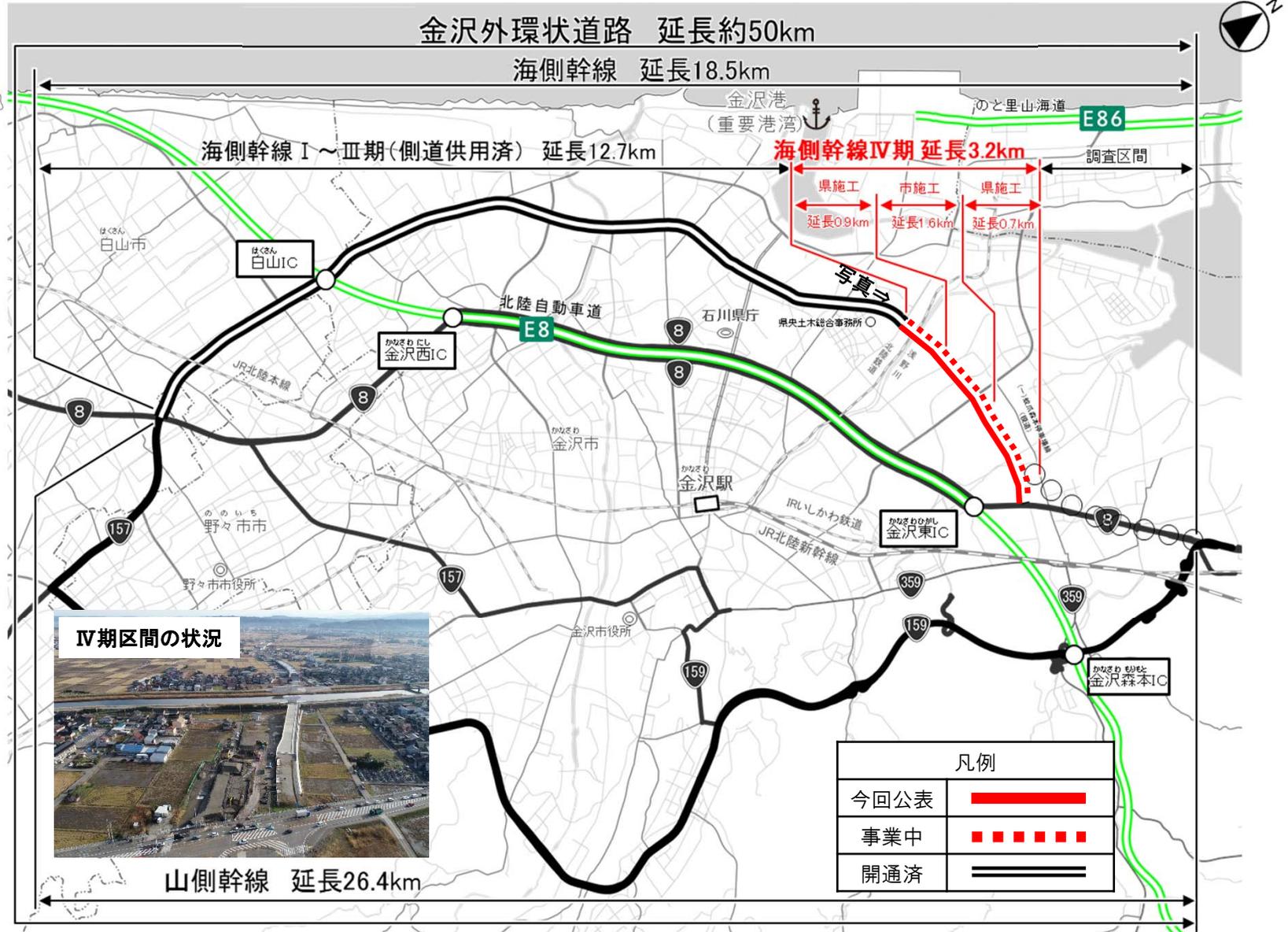
TEL 076-225-1111(代) 道路建設課長 鈴見 裕司 (内線 5040)

金沢市 土木局 道路建設課

TEL 076-220-2111(代) 道路建設課長 佐藤 孝一 (内線 2315)

整備状況図

《位置図》



金沢都市圏の交通円滑化

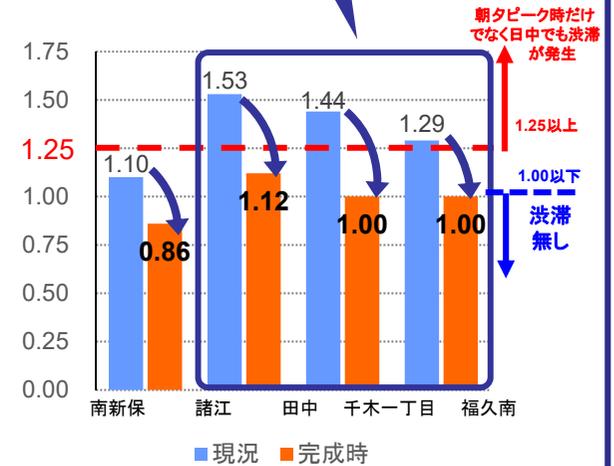


金沢都市圏の交通円滑化

環状道路を形成し通過交通を分散することで、国道8号に集中していた交通が海側幹線に転換し、国道8号の渋滞緩和に繋がる

⇒金沢市内の渋滞緩和

混雑度1.25を下回り、渋滞が緩和



▲図：国道8号の混雑状況



▲写真①：国道8号
(金沢市磯部町)



▲写真②：国道8号
(千木北交差点)



▲写真③：国道8号
(金沢市千木町)

国道8号の
交通渋滞が緩和



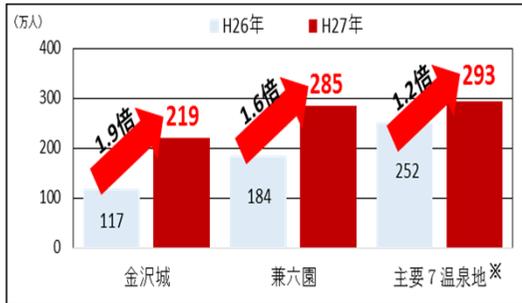
金沢都市圏の
交通円滑化

加賀・金沢・能登の連携強化、陸・海・空の交流基盤の連結

加賀・金沢・能登の連携強化

国道8号や北陸自動車道、のと里山海道と一体となった広域的な道路ネットワークが強化される

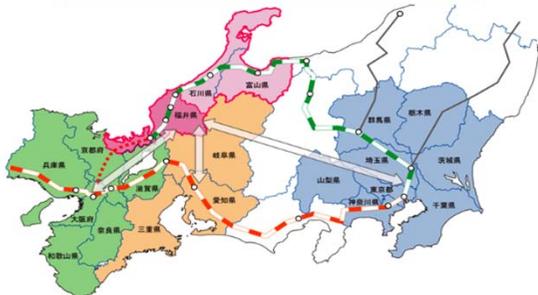
⇒交流人口の拡大に寄与



▲図：開業時の観光客数の推移（各年4月～2月合計値）

- ・新幹線金沢開業後の県内観光地入込客数は開業前と比較し増加
- ・R5年の敦賀延伸を見据えさらに観光客の増加が見込まれることから、開業効果を県下全域に波及

鉄道利用による交流人口が1.5倍以上に増加（三大都市圏⇄北陸、北陸⇄北陸）
出典：全国幹線旅客観客流動調査（H22）を6月に実施



◆ 敦賀開業による経済波及効果（H24.11北陸経済連合会調査）

経済波及効果 北陸全体	約800億円/年	うち福井県分	約210億円/年
雇用創出効果 北陸全体	約7,200人分/年	うち福井県分	約1,900人分/年



▲金沢港

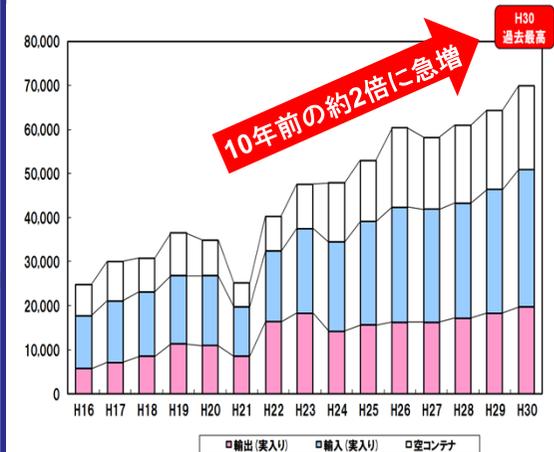


▲森本工業団地

陸・海・空の交流基盤の連結

北陸自動車道、日本海側の国際物流拠点である金沢港、日本海側の拠点空港である小松空港が直結される

⇒地域の発展と活性化を支援



▲図：金沢港の取扱貨物量の推移

- ・金沢港の取扱貨物量及び、輸出入額は共に増加
- ・大型コンテナ上屋整備等、機能強化を図った金沢港へのアクセス向上



▲大型コンテナ上屋（H31.1完成）